

「こころの健康相談」を開設しております

当科では、精神科外来にて診療を行っておりますが、通常の精神科診療では、健康保険が使えるため、比較的安い価格で診療が受けられるという利点があります。しかし、保険での精神科診療は、原則として「精神病」「精神障害」の方を対象として診療を行うものであり、受診すれば、精神科の「病名」及び精神科受診歴がついてしまいます。また、患者さんのご家族のみの診療は許可されておらず、初診は患者さんご本人の診療に限られます。

精神的な悩みを、精神病・精神障害として扱うことが望ましいとは限らないものですし、上記のような保健医療上の制約から、なかなか気軽に精神科外来を受診できないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで当科では、保険外にて気軽にご相談いただけることを目指し、「こころの健康相談」を開設しております。精神的な悩みはあるけれどもなかなか精神科外来には敷居の高さを感じておられる方、自分は精神的に正常かどうかみてもらいたいと思っておられる方、そもそも精神科とは何なのか受診したほうがいいのかどうかもわからないという方、精神科外来を受診してしまったら医療保険に入れないのではないかと心配しておられる方、自分ではなく家族の相談がしたいという方、セカンドオピニオンを希望される方、こういった方々が対象です。「こころの健康相談」を利用しただけでは、病名も精神科受診歴もつきません。どうぞお気軽にご相談ください。「新型コロナ」が心配で精神的に不安定になっている、という方も、どうぞ。



精神科 医長
荒木 一方

なお、当「こころの健康相談」では、治療はいたしません。治療が必要と判断した方につきましては、精神科外来を紹介させていただきます。

「こころの健康相談」は、火曜日の午前中に完全予約制で行っています。30分単位で延長も可能です。料金は30分5,500円（税込）です（健康保険は使えません）。相談をご希望の方は、予約センター（03-5214-7381）にお電話で「こころの健康相談」を受診したいとおっしゃって予約をお取りください。



リハビリテーション科のご紹介



リハビリテーション科
医師

山田 尚基

診療医員：日本リハ学会専門医・指導医

山田 尚基

主 査：日本理学療法士協会員

種田 英子

理学療法士11名、作業療法士6名、言語聴覚士2名

*年間リハビリテーション施行件数：

PT; 約20,000件 OT; 約10,000件

ST; 約4,000件



心のこもった良質な医療の提供

1. 様々な疾患へのリハビリテーション評価・治療の実践

脳卒中や外傷（頭部外傷・骨折など）、呼吸器や心臓疾患、そして悪性腫瘍といった各種疾患に対して、できるだけ早く自宅退院できるように積極的なリハビリテーション治療を施行しています。特に科内はもちろんのこと、科の枠を越えた強固なチームワークで疾患の早期からリハビリテーションを提供しております。



3. 先進的な臨床治療研究

脳卒中後上肢痙縮・下肢痙縮を中心にボツリヌス毒素治療を実施しており、短期入院でのリハビリテーション治療もこれから展開する予定です。ボツリヌス毒素を目的とする筋に注射投与することで、過剰収縮させていた原因物質のアセチルコリン放出が阻害され、筋弛緩作用（抗痙縮作用）が発揮されます。これまで10年以上に渡りこの治療を実践し、重篤な副作用を経験したことはなく、比較的敷居の低い治療であると感じております。ボツリヌス製剤の筋注射投与後にセラピストによるリハビリテーションの実施がより効果的であるとの考えから、1週間以内の入院治療で飛躍的に痙縮の硬さを改善しようとする試みも展開する予定です。



ボツリヌス療法の臨床風景

2. 周術期リハビリテーション治療の充実化

外科手術では、呼吸器外科をさきがけに、術前より評価・訓練し、術後早期からリハビリテーション治療を開始、早期退院を目指しています。開胸手術などでは、あらかじめ呼吸機能を上げるべく、術前に呼吸リハビリテーション治療を指導・施行し、安全な麻酔と手術の実施、そして術後の早期離床を目標に取り組んでおります。

痙縮による上肢の異常肢位



リハビリ体操のご紹介

過度の安静状態

病気や怪我などの治療の為、長期間に渡って安静状態を継続することにより、身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響をもたらす廃用症候群になることがあります。

生活不活発病とも呼ばれています。

今回環境の悪化によりSTAY HOMEと言われる中で、長期にわたっての行動制限が必要となる生活を送らざるを得なくなりました。

このような状態では、以下のように体に悪影響を与えることもあります。

1. 行動が制限されると出現する症状

- 運動器障害…筋力の低下や関節の制限
- 自律神経、精神障害…うつ状態や知的能力の低下
- 循環機能障害…めまいや立ちくらみ、心肺機能低下
- 呼吸機能障害…誤嚥性肺炎など

2. 対処法のひとつとして運動を行きましょう

最近では、テレビでも運動をしている映像を多く見るようになりました。

運動することによって、筋力の維持向上をすることで生活を活性化し自信が持てるようになり、さらに、気分的な落ち込みを伴ううつ状態をなくし、前向きに取り組む気持ちを向上させるなど精神的な機能低下も防ぐことができると言われています。

心身ともに元気に過ごせるよう、運動を紹介したいと思います。

出典

公益社団法人 日本理学療法士協会

『外出できない時に体力を落とさないためのリハビリ』
から抜粋

公益社団法人 日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

5分以上座れる方へ

①ひざの曲げ伸ばし運動



ひざをしっかりと曲げ伸ばししましょう。

②足首の運動



足裏にタオルをかけて足首をそらし、つま先を踏み込みます。

③ねじりの運動



ひざを立て、左右に体をゆっくりとねじりましょう。少しずつ座る時間を長くしましょう。気分が悪くなったり、痛みが出たりしたら、休んでください。

座れない方へ

①ひざの曲げ伸ばし運動



ひざをしっかりと曲げ伸ばししましょう。

②足首の運動



足首もしっかりと反らしたり、踏み込んだりしましょう。



交通のご案内



ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科（乳腺センター）、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科（関節鏡・スポーツセンター）、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

- 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

予約の方法・予約受付の時間帯等

- 電話での予約…9:00～17:00
（土・日・祝日及び年末年始を除く）
- 電話番号……03-5214-7381

時間外（急患）診療

- 連絡先……03-5214-7768（救急診療室）

診療受付時間

窓 □	予約のある方	午前 8:30～11:00 午後12:30～16:00
	予約のない方	午前 8:30～11:00 午後12:30～14:30
自動 受付機	予約のある方のみ	8:00～16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167
オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。

注意事項

- **処方箋**は、使用期間[発行日を含めて4日（土曜・日曜・休日を含む）]を過ぎると無効になりますのでご注意ください。
- **お薬手帳**を携帯しましょう。入院、外来、薬局で必要になる他、外出時の急病・受傷時にも有用です。



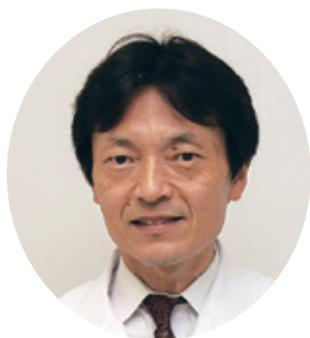
理念

私たちは、患者さんに満足いただける心のこもった良質な医療を提供し、社会に貢献します。





ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.6



消化器内科 部長
光井 洋

皆様こんにちは。今回は食中毒のお話です。正確には、「飲食物の摂取によって感染性の腸炎が複数の人に起きる」のが食中毒ですが、一人に起きた場合も含めてお話しします。

夏場は温度が高いために細菌が増殖しやすく、食中毒が起こりやすい

季節です。摂取した食物に含まれる菌が腸管粘膜で増殖して細胞を障害したり、菌の作る毒素が粘膜に炎症を起こしたりします。毒素による炎症の場合は、摂取から腸炎が起きるまでの期間（潜伏期と言います）が短く、数時間くらいで発症します。症状としては、下痢を主として、腹痛・発熱などが見られます。

以下の6種類が代表的な原因菌です。1) カンピロバクター、2) ウェルシュ菌、3) 病原性大腸菌、4) サルモネラ、5) 黄色ブドウ球菌、6) 腸炎ビブリオ。

各原因菌による食中毒の特徴です。カンピロバクターは鶏肉や生レバーに存在し、細菌性腸炎では患者数が最も多く、潜伏期は2から10日間。腸炎が治った後に神経症状が起きることがあります（ギラン・バレー症候群）。ウェルシュ菌は肉や魚介類の調理品、カレー、スープ、肉団子などに含まれ、平均10時間で下痢を起こします。この菌は熱に強く、加熱後も（芽胞という形で）生存し、エンテロトキシンという毒素を産生します。病原性大腸菌は牛や豚の腸管に存在し、潜伏期4から8日で強い腹痛・下痢ときに血便が見られます。この1種であるO-157腸管出血性大腸菌が作るベロ毒素は、赤血球の破壊と腎障害を起こすことが有名です。サルモネラは卵とその調理品に含まれることが多く、潜伏期は数時間から2日程度です。

黄色ブドウ球菌は、哺乳類・鳥類に広く分布し、健康人の鼻・のどや腸管にも存在します。エンテロトキシンを産生し、摂食の約3時間後に激しい嘔気・腹痛・下痢を起こします。かつての主な原因は握り飯でしたが、最近は患者数が減ってきました。腸炎ビブリオの原因は、魚介類とその加工品であり、摂食後12時間程度で発症します。菌の種類によって特徴があり、何を食べてどれくらいで症状が出たかを確認することが大切です。

治療についてです。腸炎は自然に治ることも多いですが、下痢が続くと脱水になりますので、その場合は飲水や点滴で水分を補うことが重要になります。下痢を止める薬を飲むことは、かえって菌や毒素の排出を遅くするのでマイナスです。症状が強い場合には、抗生物質の投与が必要になることもあります。事前に菌の種類を調べるために便の細菌培養検査を行っておくことが望ましいです。

大事なのは予防です。家庭では、手やまな板などをきれいに洗うようにしてください。細菌は熱・温度に敏感ですので、肉・卵・魚介類などの食品は良く加熱し、保存する場合も室温は避け、冷蔵庫での短期間の保存にしましょう。外食では、生ものや生焼けの肉には十分注意してください。

以上、夏の細菌性食中毒のお話でした。暑い盛りですが、皆様お体に気をつけてお過ごしください。



新任医師紹介

2020年4月1日採用



外科 医師
つちや たけし
土屋 剛史

4月より外科に赴任しました。患者さんのニーズに応えられるような診療を心がけて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



内科 医師
いしがき じゅんいち
石垣 潤一

4月より内科医として勤務させていただいております。患者さんに寄り添った医療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



内科 医師
かない ひかり
金井 光

4月より、内科医として勤務しております。患者さんに信頼していただけるよう、丁寧な医療を心がけてまいります。よろしく願いいたします。



内科 医師
かわかみ けいたろう
河上 慶太郎

4月より内科医として勤務しております、河上慶太郎と申します。患者さんのお役に立てるように努力いたします。宜しくお願いします。



内科 医師
たかく ゆうたろう
高久 由太郎

4月より内科医として勤務させていただいております。患者さんの気持ちに沿った医療を目指して精進して参ります。



内科 医師
はやし たけし
林 猛志

4月から内科医として勤務させていただいております。少しでも患者さんに寄り添った治療を目指していきます。どうぞよろしくお願い致します。



内分泌・代謝内科 医師
あさかわ まさひろ
浅川 雅博

常に患者さんのお話をよく聞き、丁寧で分かりやすい説明を行うことを心がけて診療にあたっています。よろしくお願い致します。



血液内科 医師
わたなべ だいすけ
渡邊 大介

4月から血液内科医師として赴任した渡邊と申します。患者さんが安心できるように、丁寧な診療と分かりやすい説明を心がけて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



神経内科 医師
すぎやま ゆうりょう
杉山 雄亮

はじめまして。今回当病院の神経内科で勤務することとなりました。一人でも多くの患者さんが元気に退院できるよう尽力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。



神経内科 医師
みやの りょうすけ
宮野 涼至

4月より神経内科医として赴任いたしました宮野と申します。患者さんにより良い医療を提供できるように努めますので、宜しくお願いいたします。



神経内科 医師
ほり けいたろう
堀 賢太郎

4月より神経内科に赴任致しました。患者さんに安心して頂ける医療を心がけて参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



循環器内科 医師
はら とおる
原 濟

4年ぶりにまた勤務させていただくことになりました。心の通った診療を心掛けて参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



腎臓内科 医師
せきぐち まりこ
関口 麻里子

4月より腎臓内科に赴任致しました。丁寧な診療と分かりやすい説明を心がけてまいります。



消化器内科 医師
すずき さよ
鈴木 祥代

4月から消化器内科に赴任いたしました。患者さんに寄り添った医療を目指して頑張っておりますので、よろしくお願い致します。





整形外科 医師
えんどう としひろ
遠藤 俊宏

4月より当院整形外科勤務となりました遠藤俊宏と申します。患者さんに分かりやすい説明を心がけて診療させていただきます。運動器のことでお困りの方は、一度当科を受診していただければと思います。よろしくお願い申し上げます。



眼科 医師
おおみち さちこ
大道 幸子

4月より眼科に赴任いたしました。分かりやすい説明を心がけ、患者さんのお役に立てるよう頑張ります。



眼科 医師
ながの のりみち
長野 哲道

4月より眼科に赴任致しました長野と申します。良い医療を提供できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



皮膚科 医師
はやし よしお
林 剛生

4月より赴任致しました。患者さんの思いに沿った医療を提供できるように心がけます。よろしくお願い致します。



泌尿器科 医師
あきやま かずき
秋山 量紀

新しく泌尿器科に赴任いたしました秋山と申します。よりよい医療を提供できるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



放射線科 医師
しおた さおり
塩田 沙織

4月より赴任いたしました、放射線科の塩田と申します。どうぞよろしくお願い致します。



放射線科 医師
よしおか きょうへい
吉岡 恭平

放射線科後期レジデントの吉岡と申します。研修医の時以来、2年ぶりに通信病院で勤務させて頂くことになりました。よろしくお願い致します。



リハビリテーション科 医師
やまだ なおき
山田 尚基

リハビリテーション科の山田と申します。脳卒中の予防と治療を中心に患者さんの人生を背負う覚悟で努力致します。



麻酔科 医師
こうの まいこ
河野 麻衣子

4月より麻酔科に赴任いたしました。皆様に安心して麻酔を受けていただけるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

2020年5月1日採用



耳鼻咽喉科 医師
あんどう たかあき
安藤 喬明

2020年5月より赴任いたしました、耳鼻咽喉科の安藤喬明と申します。よろしくお願い致します。

当院を退職しました

2020年3月31日退職

松元 俊 (副院長兼眼科部長)
利根川 守 (形成外科主任医長)
竹川 徹 (リハビリテーション科医長)
匹田 祐樹 (内科医師)
林 寛仁 (内分泌・代謝内科医師)
木村 萌 (血液内科医師)
高岡 真哉 (消化器内科医師)
時任 佑里恵 (消化器内科医師)
江崎 珠里 (消化器内科医師)
宮田 宏太郎 (循環器内科医師)
本間 志功 (腎臓内科医師)

加世田 健 (腎臓内科医師)
布田 圭一 (呼吸器内科医師)
内田 英彦 (呼吸器内科医師)
松尾 康史 (整形外科医師)
陳 逸寧 (眼科医師)
根本 穂高 (眼科医師)
河合 徹 (皮膚科医師)
小野 晃裕 (泌尿器科医師)
児玉 紘子 (放射線科医師)
沖元 斉正 (放射線科医師)
横島 弥栄子 (麻酔科医師)

2020年5月31日退職

久野 慎一郎 (救急総合診療科医師)

2020年6月5日退職

庄司 賀範 (呼吸器内科医師)
浅野 涼 (呼吸器内科医師)



ナースステーション

～リワークセンターのご案内～

副看護師長 岩館 朋子



リワークセンターでは、うつ病などで休職中の方を対象に、復職支援の精神科デイケア（リワークプログラム）を行っています。精神科医師、臨床心理士、保健師、看護師がチームとなり、復職準備を支援します。プログラムでは復職だけでなく、その後も働き続けることを目標とし、再発・再休職予防に取り組みます。具体的には、①体調管理をしながら毎日出勤できる状態にする、②休職に至った要因や自分の働き方を振り返る、③ストレス対処を身につけて復職する、などです。

当院リワークは1クール4か月、週5日通所します。日中活動することで、睡眠や生活リズムを整えます。気分・体調の自己管理をしながら休まず通うことが、自信や体力・作業能力の回復につながります。集団プログラムは少人数の固定メンバーで進めています。メンバーの発言からの気づきも多く、考えの幅が広がり、働き方を振り返るよい機会となっています。共同作業中に自身の考え方の特徴や行動パターン、働き方がよく表れます。いつもの傾向に気づき、別の対処を増やすことが再発予防になります。

リワーク終了時の感想では「学びが多く有意義だった、自分を見つめ直す時間を持てた、復職への不安が軽減した・自信がついた」等が聞かれます。走り続けるだけでなく、少し立ち止まり、今後の働き方や自分の人生を考える分岐点になると思います。

業種・職種を問わず、ご利用可能です。希望される方は是非、ご相談下さい。

人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック



男性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	
腎・尿路系	炎症・その他	
代謝系		

料金 45,100円
追加でオプション検査もごさいます。



女性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	婦人科(子宮頸がん検診)
腎・尿路系	炎症・その他	外科系(乳房撮影+触診)
代謝系		

料金 52,360円
追加でオプション検査もごさいます。

新規オプション「膵・胆道ドック」開始!!

2020年4月、人間ドックの後日オプション検査「膵・胆道ドック」を開始しています



「糖尿病の方」、「家族歴に膵臓がある方」、「過去に膵臓に異常があった方」、「肥満の方」、「喫煙されている方」、「大量飲酒されている方」にお勧めします。

膵臓がんは早期診断が難しく、有効な治療法が確立されていない難治性がんの代表です。高齢化に伴い死亡数は急増し、2017年度悪性新生物の部位別死亡率は男性は4位、女性では胃がんを抜き3位となりました。

2012年に日本膵臓学会から「腫瘍径が1cm以下の膵臓がんの5年生存率は80%以上」と報告され、今後の早期診断の目標

とされています。しかしこの大きさでは約4割の患者さんが無症状で、腹部エコー検査でも描出困難な事が多く、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)の上昇も低率(15-40%)であるため、結果的に「異常なし」と診断される事は稀ではありません。

EUS(超音波内視鏡検査)やERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査)により早期診断は可能となりますが、身体への負担が大きくスクリーニング検査としては適しません。膵・胆道ドック検査は腫瘍マーカーや腹部エコー検査で膵臓がんが疑われた場合、次に行う精密検査として位置づけられています。検査時間は概ね20分と短く、非侵襲的で被爆がないこと、腹部エコー検査で描出困難な部位も観察できることからスクリーニング検査として最近注目されています。

人間ドック後の後日検査です。第1から第4土曜日(1日3名さままで)(現在は本検査のみは実施しておりません、人間ドックを実施することが前提となります。)

料金は27,500円(消費税込)です。

